

# 就農へのイメージとみちすじ

## 1 イメージと対応方向

	あなたの希望	対応方向	相談窓口
職のイメージ	生活に農作物作りを取り入れたい	独学、市民講座受講、農業体験イベント等に参加する	ひょうご就農支援センター 地域就農支援センター
		市民農園、滞在型貸農園を借りる	市町市民農園担当窓口
	田舎に移り住み自給程度の農業を営みたい	希望する定住地を探す	ひょうご田舎暮らし・多自然居住支援協議会 カムバックひょうごセンター
農業を体感する	今の仕事・学業を続けながら農業の知識・技術を身につけたい	兵庫楽農生活センターで農業を学ぶ	兵庫楽農生活センター
	農業がどんなものか体験したい	民間の農業塾等に入塾する 農業インターンシップ研修を受ける	ひょうご就農支援センター 地域就農支援センター
技術を習得する	専門的な知識・技術を身につけたい	県立農業大学校で研修する(高設栽培等) 兵庫楽農生活センターで研修する(露地栽培、施設栽培等) 酪農ヘルパーを目指す	県立農業大学校 兵庫楽農生活センター 県酪農農業協同組合
農業を始める	農業法人等に就職したい	求人情報を入手する	ハローワーク 農業法人等求人情報サイト
		農業法人等のセミナーや説明会に参加する	ひょうご就農支援センター
	独立して農業を始めたい	農地の情報を入手する 就農支援制度の情報を入手する 資金確保の方法を検討する 親方農家の下で研修する	市町農業委員会 兵庫みどり公社 (農地中間管理機構) ひょうご就農支援センター 地域就農支援センター 兵庫県、市町 日本政策金融公庫、JA ひょうご就農支援センター 地域就農支援センター

## 2 就農までのみちすじ

### 情報を集める

- ① 就農情報や農業の基礎的な知識を集めます。
  - ア 農業を始めるための情報を集めたり、就農相談のためにひょうご就農支援センターや地域就農支援センターを訪ねよう。
  - イ 新規就農関係の各種相談会等に参加しよう。
  - ウ 農業の基礎的な用語を理解しよう。
- ② 農業体験や現場見学の機会を作ります。
  - ア 関心のある講座、イベント、研究会に参加しよう。
  - イ 研修機関を訪問しよう。研修生と交流しよう。(農大・楽農生活センター)
  - ウ 生産の現場である農村、農家に出向いていって積極的に話を聞こう。
  - エ 農産物直売所には定期的に行き、生産と流通双方の情報を集めよう。

独立就農

### 目指す農業経営のビジョンを明確する

- ① やらうとする農業経営の具体的なイメージを作ります
  - ア どんな作物を栽培するか、作物・部門を考えよう。
  - イ 作目は単一の専作経営か、複数以上の複合経営か、経営のタイプを決めよう。
  - ウ 露地栽培か施設栽培か、通常栽培か有機栽培か、など栽培方法の選択を考えよう。
  - エ 農作業に従事できる労働力と作目・経営タイプ・栽培方法や、経営規模などが適正か、考えよう。
  - オ 選択作目や生活条件、県・市町の支援措置等から就農候補地を検討しよう。
  - カ 就農計画(就農までの工程表)を作ろう。
- ② 理解者、協力者を作ります。
  - ア 配偶者、家族、友人に就農計画を熱く語り、協力者にしよう。
  - イ 関係者(市町、農協、農業委員会、就農支援センター、指導農家)の賛同と共感を得よう。



雇用就農

- ① ハローワーク、農業法人等の求人情報サイト等により求人情報を収集する。
- ② 農業法人等の就農セミナーや説明会に参加し情報を収集する。
- ③ 主な勤務内容を確認する。  
(農作業が中心か、加工、販売、事務作業が中心か)

## 納得できる 営農基盤をつくる

### ① やらうとする農業の技術（生産と経営）と ノウハウを身につけます。（P6～8）

- ア 農大、楽農生活センターの研修を受けよう。
- イ これはと思う師匠を見つけ、自信がつくまで研修しよう。
- ウ 関係機関のスタッフや指導農家と何でも相談できる信頼関係を築こう。
- エ 農業者向けの研修会、講習会にできるだけ参加しネットワークを作ろう。

### ② 農地の選定は慎重に、経験者の意見を聞いて 決めます。（P9、10）

- ア 農地は広い範囲から探し、地元農業委員会には詳しい情報（就農計画など）を伝えよう。
- イ 農地法の基本的なルールを理解しよう。
- ウ 成功の決め手は農地の良し悪し。あらゆるネットワークを駆使して探そう。
- エ 農地に付帯する、住居、作業場、農機具置場も考慮しよう。

### ③ リスクに強い健全な資金計画を立てます。 （P11、12）

- ア 中古機械や中古施設の利用などで初期投資を可能な限り抑えよう。
- イ 経営試算は楽観的な見通し、希望的な数字を避け、実現可能なデータで査定しよう。
- ウ 安易に融資に頼らず、自己資金、親族、友人からの援助、出資を確保しよう。

### ④ 認定新規就農者の認定を受けよう。（P12）

## 持続可能な 農業経営を始める

### ① 経営の記録をつけます。

- ア 農業簿記（複式簿記）を身につけ、経営記帳の習慣をつけよう。
- イ 毎日農作業日誌をつけ記録に残そう。

### ② 小規模経営からスタートし経営に自信をつけ ます。

- ア 自己の作業能力、投下可能労働時間、投下可能資金を把握しよう。
- イ 生活費をできるだけ抑え、不急の出費を避けよう。
- ウ 記録をもとに指導者を交えて経営改善策を検討しよう。

### ③ 制度資金を利用して規模を拡大します。

- ア 持続可能な経営規模を把握しましょう。
- イ 必要かつ妥当な設備投資額を算出しよう。
- ウ 融資制度を理解し、周到的な償還計画を立てよう。
- エ 長期経営ができるよう経営基盤の点検、見直しをしよう。



④ 作目、地域、労働条件の希望を明確にする。

⑤ 雇用契約内容や、労働保険・雇用保険等の加入条件を確認する。

農業法人等に就職する

経営の中核を担う

※雇用就農を経て独立就農する場合は上段のみちすじへ